２０２３年　９月号

関東学院六浦こども園

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ（エレミヤ31:21）

人になれ　奉仕せよ

聖　　句：	主により頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。　（エフェソの信徒への手紙 6：10）	
保育目標：	０歳児	・色々な物事に興味をもち、繰り返し試してみようとする。
	１歳児	・周りの保育者や友だちとやりとりを楽しんで、のびのび過ごす。
	２歳児	・やってみたいことを思いきり楽しむ。簡単な身の回りのことをやってみようとする。
	３歳児	・気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。身のまわりにある秋を見つける。
	４歳児	・友だちと一緒に遊ぶ中で楽しさや難しさなどを味わい、心をかよわせる。
	５歳児	・友だちと時や場を共有して遊ぶ。季節や自然を感じ、五感を使って楽しむ。

今年の夏はニュースで「猛暑」という言葉を聞かなかった日はないくらい、毎日暑い日が続きましたね。お家で過ごされている時も、熱中症には十分気を付けて過ごされていたことでしょう。また、去年よりも今年の夏はさらに出かけやすくなり、ご家族での旅行やおじいちゃん、おばあちゃんの家に遊びに行く機会も持てたことでしょう。夏の間もこども園に登園していた長時間利用の子どもたちは、お休み後に登園してくると、夏休みに出かけた話を嬉しそうに話してくれます。そんな話を聞いているとふと、自分自身の幼少期の夏休みを思い出しました。たとえ遠出をしなくても、家族で過ごした時間、例えば、一緒にスイカをほおばりながら食べたり、プールで遊んだり等、楽しかった時間は子どもの心に刻まれていきます。そんなちょっとした「幸せな時間」が、これからも子どもたちだけでなく大人の私たちにとっても元気の源となっていきますように願っています。

夏が来るとこども園に「夏の昆虫」たちが子どもたちと一緒に生活を始めます。幼児クラスで飼育していた「昆虫」を今度はにじ組でお世話をするからです。今年もいくつもの飼育ケースの中にカブトムシやクワガタが飼育されています。昆虫好きな子どもたちが、ケースの周りに集まり、自分の知っている昆虫の「知識」を目をキラキラと輝かせながら語り始めます。それを憧れの眼差しで聞いている年少組や年中組の子どもたち。自然と異年齢の関わりを持っているからこそ受ける刺激です。先日、一人の男の子が手にしていた図鑑を広げ、クワガタの写真の平たい部分を指でさしながら「せんせーみて。これはね、ここがひらたいでしょ。だから、ヒラタクワガタって言うんだよ。」と覚えやすいように教えてくれました。「なるほど」と思ったのと同時に、本当に大好きなんだなと感心してしまいました。大好きだからこそより深く知りたいと思う心が動かされていくこの「感覚」は、きっと誰もが持っている感覚だと思います。特に乳幼児期にこのような感覚を経験することでその子の可能性が広がっていくのではないでしょうか。７月に行われた「きらめくいのちのギャラリー」でも子どもたちの「感じ・心動かされ・表し」ている種をご覧いただく機会を持ちました。いかがでしたでしょうか。これからも子どもたちの声に耳を傾け、その子の「興味・関心」が広がりその思いが実現していけるよう支えていきたいと思います。

７月の下旬から始まりました２階フロアーの床の整備ですが、工事期間中も大きな事故や怪我もなく無事に終えることができました。長時間保育利用の保護者の方々にはご不便をおかけしたかと思います。ご協力ありがとうございました。10 年間このフロアーで過ごしてきた足跡が新たな装いでまた新しい時を刻んでいきます。とても綺麗になったフロアーでこれから過ごしていく時が神さまの守りと祝福に満ちたものとなっていきますように。どうぞ、保護者の方々も送迎時にご覧になってください。

９月は、こども園まつりを予定しています。子どもたちだけでなく、保護者の方々も一緒に楽しい時間が過ごせるよう準備をしてまいりました。全てが守られ喜びに溢れた時となりますよう願っています。

副園長　松下　成美